



校長のつぶやき

福井市長橋小学校

R 3 . 7 . 1 5

「質問です。校長！子どもの周りには、どんなネット上の危険が潜んでいるの？《その1》」

そもそも、インターネットはとても便利なものであり、賢く使えば何の問題もないものだと思います。しかし、使い方を誤ると、逆にとても危険なものにもなり得る可能性があります。

今年度に入り、本校でも一人一台のタブレット端末が与えられ、全国的にGIGAスクール構想の実現が急加速しました。

* GIGA は「Global and Innovation Gateway for All」の略で、「すべての児童生徒のための世界につながる（グローバルで）革新的な入口（扉）」という意味

このような時代が到来した以上、インターネットを賢く使わなければなりません。使う機会が増えたがために、危険と出会う機会も増えてしまうのでは本末転倒です。

では、誤った使い方により、具体的にどんな危険が考えられるのか、今後、何号かにわたって、事例をもとにつぶやいていきます。

【事例1 ネット上のいじめ】

LINE
(ライン)



Facebook
(フェイスブック)



Twitter
(ツイッター)



Instagram
(インスタグラム)



子どもたちは、左に例として示すようなコミュニケーションアプリを巧みに操ることができます。中・高生に比べれば、小学生の使用率は低いでしょうが、小学生でも無料通話アプリを利用している割合は少なくないと推測します。

これらのアプリも、本当に便利なもので、使い方を誤らなければ、とても素敵なアプリです。しかし、誤った使い方がなされると、人を傷つけたり、人が傷つけられたりしてしまいます。

これまで、いじめについてつぶやいてきましたが、いじめの中で最も早期発見し難いもの、いや、

ずっと発見できないかもしれないものは、このネット上のいじめと言われています。私たちは、「見えにくいいじめ」とも言っています。

ネット上のいじめにも本当にたくさんパターンがありますが、主なものをいくつか紹介してみます。

- 無料通話アプリ等で、グループを作ってやりとりをしていた。このグループを退会した、あるいはメンバーを退会させた、退会させられたことなどによるトラブル。
- 掲示板など、投稿箇所に人の悪口を書き込んだことによるトラブル。
- 友だち同士の無料通話アプリのトークやメール等で、人の悪口をネタとしてやりとりをしていた。やりとりをしていた仲間の一人が、悪口のネタとされていた本人にトークの内容等を見せたことなどによるトラブル。
- 不正にアクセスをするなど、第三者と化して（なりすまして）誹謗中傷等をしたことによるトラブル。（なりすまさないでも誹謗中傷する書き込みも同様）

※フジテレビ「テラスハウス」に出演していた木村花が、ツイッター上で誹謗中傷され、自殺に追い込まれた事案は、記憶に新しいのではないのでしょうか。

※今回も校長のつぶやきにお付き合いいただき、ありがとうございました。次回以降も、子どもたちの身の回りに潜んでいる「ネット上の具体的な危険」についてつぶやきます。